

活き生き ほっと通信

認定NPO法人
活き生きネットワーク



〒420-0882 静岡市葵区安東 1-23-12
TEL 054-209-0700 FAX 054-209-5700
E-mail npo_ikiiki@pure.ocn.ne.jp
URL <http://npo-ikiiki.net/>

No. 141

「後悔」

代表理事 杉本彰子

私の母はスキルス性の乳がんで亡くなりました。母は家で日本舞踊の師匠をしており、何人かのお弟子さんに教えていました。私は日本舞踊が嫌いでした。でも母に言われて、小学校5年の時から、母の師匠さんに日本舞踊を学びました。高校2年生から学校の都合で通えなくなりましたが、師匠の教えで日本舞踊が好きになりました。発表会では私が間違えないか、学び通りすんなり踊れるかと、母は私より緊張していました。

私が19歳の時、母はがんとの闘病生活が始まりました。日赤で手術し、東京のがんセンターでも診ていただきました。私は会社をやめ、母に付き添いました。

それまで私は、ひとり旅をしたり、ユースホテルのお手伝いをしたりと、青春を満喫していました。IBMで働いたり、末次一郎の事務所で色々学んだり、本当にたくさんの経験をしました。

ある日、長兄が末次一郎事務所に私に会いに来たのです。「母があと半年の命」と聞かされ、私はそのまま兄と静岡に帰りました。それから私は、母につきっきりで過ごしました。母は食事もとれず、まっすぐに寝ることもできず、テーブルに手と身体をのせて寝ていました。でも母と私は一緒にテレビを見たり、笑ったりして過ごしました。そして、私も幸せでした。

介護の経験がなかった私は、時には自宅に帰ったり、喫茶店で過ごしたりしていました。母は般若心経を何度も書いたり、涙を流したりしていました。そして私に「私が死んだら困るよね」と聞いてきました。私は聞こえないふりをしていました。ある日、母はまた同じことを聞きました。あまりにも近くにいたので「大丈夫だよ」と答えました。母は何も答えてくれませんでした。今でも、本当に後悔しています。やっぱり絶対に言っていけない言葉があるんですね。あの時どう言えばよかったのか。50年以上経つ今も当時のやりとりが忘れられません。

*来年よりほっと通信をリニューアルします。1月号をカラーでお届けしますので
来年より、ほっと通信をもって年賀状に代えさせていただきます。

「出会いは不思議、つながりは意識して」 理事リレー

理事 小野寺 郷子さん

(会議ファシリテーター普及協会副代表)

私の「生き生き」との出会いは、NPO 活動が日本で根付き始めた 1990 年頃に遡ります。夫の研究留学に付き添って暮らしたアメリカで NPO 活動に触れ、帰国後、「自分のことで学び続け、社会とつながっていききたい」と勉強グループを立ち上げました。その活動を通じて、愛のパワーあふれる彰子さんや昭夫さんに会い、「生き生き」の活動を知りました。

実は、アメリカで私を学びや交流へ誘ってくれたのは、「ファシリテーション」という手法でした。自分を表現し、他の人の意見を真剣に聞き、互いに変化する。そんな「対話の場」の大切さを実感し、釘山健一さんと「会議ファシリテーター普及協会」を立ち上げて、早 20 年になります。釘山さんも、生き生きの皆さんと同じくらい熱い人です。私が大切にしてきた「対話」や「つながり」は、生き生きの活動にも通じるものだと思います。

私には子どもがいません。だから、周囲の子ども達はみんな 可愛く、愛おしい。そして、高齢者は人生の先輩で、みなさんが先生です。世代を超えて人と人がつながる生き生きの活動は、心から素敵だと思います。

先日、夫に「私ってどんな人？」と聞いたら、「明るく、厳しい」と言われました。その言葉はこたえました。私は、自分のことは棚に置き、身近な人に甘え、最も辛らつに厳しいことを言える相手は夫でした。「対話」は他者を尊重します。それは自分の未熟さを自覚する事でもあります。時に行き場のないイライラからの身勝手な発言を夫は受け止めて支えてくれていました。人は必ず誰かに支えられて、明日に向かって生きていくことができるのですね。

人生は長いようで短い。出会いは不思議です。人は変わり、環境も変わります。意識しなければ、つながりは少しずつなくなっていくでしょう。

だからこそ、大切なものをないがしろにしない。言葉にし、相手の言葉や態度を受け止め、関わり続ける。そんなことを意識しながら、これからも「生き生き」の皆さんと希望のネットワークをつないでいきたいと思っています。

いきいき研修会のお知らせ

10 月 23 日 (金) 18:30~20:00 場所:くすくす 2 号館 2F

「コミュニケーション講座」

講師:小野寺郷子さん(会議ファシリテーター普及協会副代表)

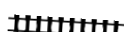
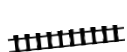


12 月 4 日 (金) 18:30~20:00 場所:くすくす 2 号館 2F

「親目線で伝える知ってほしいこと

～知的障害理解のために～」

講師:しずおか♥おでんジャーの皆さん



清水病児・病後児保育室「ぽっけ」が開所しました♪

9月1日(火)、静岡市立清水病院の敷地内に、清水病児・病後児保育室「ぽっけ」を開所しました。静岡市から委託を受けて活き生きネットワークが運営する、「虹いろ」に続く清水区2か所目の病児保育室です。定員3人の小さな部屋ですが、看護師と保育士がお子さんをお預かりします。初日からさっそく子どもたちの声が響きました。

また、園で急に具合が悪くなったお子さんを職員がタクシーでお迎えに行き、清水病院で受診してから、「ぽっけ」にてお預かりする「急病時あんしん預かり保育」(事前登録制・未就学児対象)も始めました。「急に熱が出た。でも仕事は休めない」日の「どうしよう」を、一緒に引き受けられる場所でありたいと思っています。

清水病児・病後児保育室「ぽっけ」 ☎ 054-336-3711

静岡市清水区宮加三 1231 静岡市立清水病院 院内保育所 1階

月～金 8:30～17:00 (土日祝・12/29～1/3 休) 定員3人

対象 生後56日～小学6年生 利用料 1日1,800円

(非課税世帯 800円・生活保護世帯 無料) 予約は前日12時から
※あんしん預かり保育の対象園・事前登録は 静岡市ホームページへ



静岡市緊急サポートセンター スタッフ研修会の報告 (静岡市こども未来局こども未来課)



令和8年7月1日から7月17日までのうち6日間、今年度第1回目となる支援スタッフ研修会を実施しました。今回は、静岡市こども未来課からの要望を受け、児童虐待に関する講義を新たに必須講義として取り入れ、静岡市児童相談所の職員の方に講師を務めていただきました。全講義で29名の方に参加いただきました。「小児看護の基礎知識①・②」「保育のこころ」では講師の変更もありましたが、関係機関の皆様にご協力いただきながら、子どもの安全や健康、虐待防止、保育について学ぶ機会を設けることができました。



＼にこにこ／



今年の夏のテーマは

「POLE・POLE サマーフェス 2026」！
スタッフからサマーフェスに出掛ける話を聞き、「にこにこのみんなにもフェスを楽しんでもらおう！」と、みんなで準備を進めました。

お気に入りの音楽に合わせて、手作りのタオルを振ったり楽器を鳴らしたりしながら、楽しく盛り上がりました。

「POLE・POLE」の意味である「ゆっくり、ゆったり」として、にこにこらしい夏のひとときになりました。



手作りタオルを作ったよ



フェスで、サマタマゲームをみんなでしたよ



タオル、振りふり～！！



のびっこハウス 水辺に行ってきたよ！

今年にとってはおきの秘密の場所である水辺に遊びに行ってきました。
到着してすぐに、トンボやバッタが出迎え、水の中にはサワガニや魚も見え、目を輝かせた子どもたち。積極的に水の中に入って探索スタートです。
タモを使って生き物を探したり、貝や石を見つけて夢中で集めたり、ワニ泳ぎや水かけっこなど水の感触を楽しんだり、どの子も笑顔いっぱいでした。スタッフも童心にかえって一緒に楽しみました。

自然の中で好奇心を満たし体も心も解放して夏の良い思い出ができました。



「とうちゃく～」



「あそこにいるよ」



かに・さかなを捕まえて、興味津々です



4月から新しいお友達を迎えて
18人でスタートしたるんるん！春にはお花
見、ピクニック！夏は、初めての花火、花
火自体が初めての子も多く怖がってしまう
かなあと思いましたが、みんな楽しむこと
ができました。そして待ちに待った夏休
み。プールにお化け屋敷に、合同夏祭り！
と夏を満喫しました。



パラリンアートコンテスト 静岡マツダ賞受賞

先日メインで絵を描いてくれた利用者さんと一
緒に授賞式に参加してきました。
緊張していましたが、堂々とカメラの前に立ち
凄くカッコ良かったです！
皆さんに作品を見ていただけたら嬉しいです。



わくわく・るんるんで合同夏祭りを企画しました



わくわく

「やってみたい！」がいっぱいな夏休み☀

「やってみたい！」「行ってみたい！」そん
な子どもたちの声から始まるのがわくわくの
活動です☀この夏も「わくわくだからでき
た！」がたくさん生まれました♪
今年の夏のテーマは...「つながる・ひろがる」
他の放デイや地域の子もたちと体育館で交
流をしたり、夏祭りに招待し、遊びを通じて
自然とたくさんの笑顔の輪が広がっていきま
した☺

summer event

5月

- ・じゃがいも掘り
- ・保育実習受け入れ

7月

- ・体育館あそび
- ・富士山静岡空港見学

8月

- ・地域交流（体育館）
- ・護身術教室
- ・BBQ
- ・ドリプラバス電車遠足
- ・水辺の楽校
- ・夏祭りweek





8/22(土)安東夏祭りに出店しました♪

22日(土)、安東中学校にて安東夏祭りが行われました。今年もお絵描きせんべいとスーパーボールすくい、くじ引きを用意。風も出ていていい天候です！

たくさん子ども達が買いに来てくれて、大賑わいとなりました♪

しかし18:30過ぎから雨が突然降り出し、お客さんもお店もてんやわんやです。

何とか雨の中でも続けられましたが、撤収の頃には大雨でずぶ濡れ、撤収のメンバーに感謝です。今年も夏のいい思い出となりました♪



クリスマス会&忘年会のお知らせです

今年は10月号のほっと通信がないため、9月号でのお知らせとなります。

今年も例年通り、Cafe&Restaurant temboooさんで行います！今年も美味しい

お料理と素敵な景色を楽しみながら、1年を楽しく締めくくりましょう♪

今年は参加費が昨年よりも値上がりしています。。ぜひご参加ください。

日 時: 令和8年12月13日(日) Am11:00～13:30頃(10:30受付)

場 所: Cafe&Restaurant tembooo 駿河区登呂3-1-1静岡新聞放送会館17F

参加費: 4,500円小学生以下2,500円(くじ引きあります)

☆Dixie Sacciさんによる陽気なディキシーランドジャズ演奏♪

☆お楽しみくじ引き大会

☆クイズ大会 他にも皆さんに楽しんでいただけるよう企画中です！



12月13日(日)いきいきクリスマス会&忘年会に参加します♪

*お名前①

お名前②

*お名前③

お名前④

電話:

(お子さんが参加される場合、年齢も記載ください)

○参加希望の方は、席を1人1席設けますので、必ず参加の連絡をお願いします。

○駐車場を利用する方はこちらに記載ください。 利用 あり / なし





児童発達支援のびっこハウス



保育所等訪問支援がスタートしました♪

児童発達支援のびっこハウスでは、「保育所等訪問支援」という事業がスタートしました。保育所・幼稚園・認定こども園・学校などへ訪問し、お子さまが安心して集団生活を送れるよう支援を行います。お子さまの関わりだけでなく、先生方や保護者の方とも連携しながら、環境調整や関わり方を一緒に考えていきます。

☆ご利用には受給者証が必要です。お手続きのサポートも行います。 のびっこハウス担当: 松下

☆一人ひとりに合わせた支援を行います。お気軽にご相談ください。 (080-1591-6076)



新人紹介

4月から働かせていただいております。花村です。前職は保育園に勤めておりました。スタッフの皆様の温かいご指導の下、子ども達が安心して楽しく過ごせるように、笑顔で頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

保育士 花村三恵(のびっこハウス担当)



萌楓と書いて“ほのか”と読みます。負けず嫌いなところがあり、勝負事があると常に本気です(笑)この4月から社会人として、大学で学んできたことを活かして働きたいと思っています。自分なりにどのような支援ができるのか模索しながらではありますが、頑張っていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

保育士 高木萌楓(のびっこ、わくわく担当)



7月から保育士として入職しました。植之原季里です。病児保育の虹いろ、ぽっけで保育士をさせていただくため、前職で0歳から18歳までの子ども達と関わってきた経験を活かし、利用される子どもの年齢にあった関わりで安心して回復に向かえるよう努めてまいります。

保育士 植之原季里(病児病後室虹いろ、ぽっけ担当)



くすくす2号館2Fフリースペースレンタルできます♪

静岡高校フェンス横にあります、くすくす2号館ですが、2階スペースがとても広く、ぜひ会員の皆さまにもご活用していただけたらと思います。机や椅子もあり、40人程の会議や集会ができます。半日500円、1日1,000円です。

駐車場はご相談となります。 場所: 葵区安東一丁目26-14

編集後記

ほっと通信は1年の間で1、4、6、8、10月の5回で発行していましたが、これからは、1月、4月、9月の年3回となります。日々の出来事などは、Instagramやフェイスブックにて、ぜひ、ご覧ください!!

活き生きをより多くの方に広める活動がんばります♪ 広報委員会



@IKIKI_NPO